

経営比較分析表（令和4年度決算）

三重県 明和町

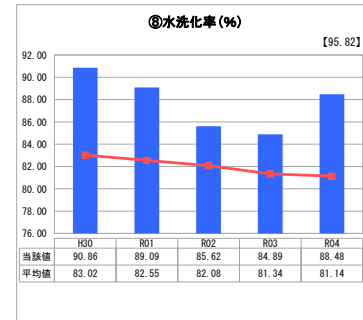
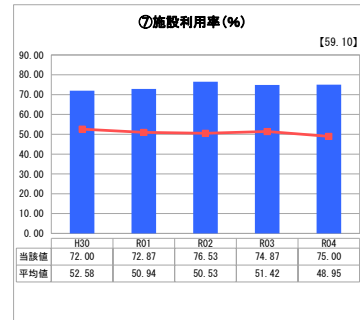
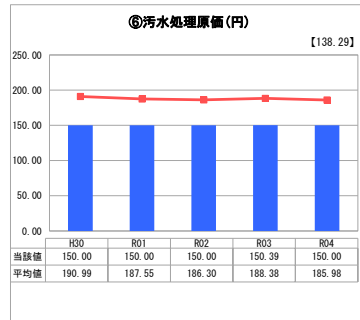
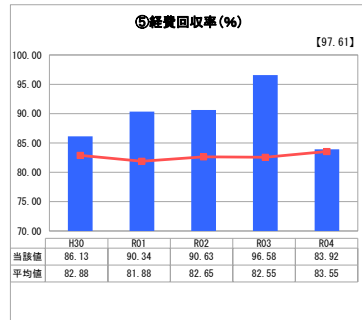
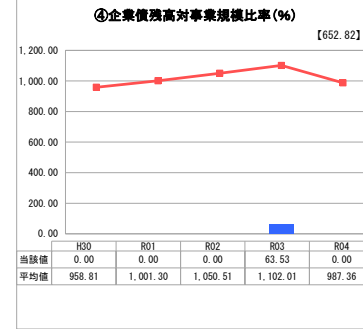
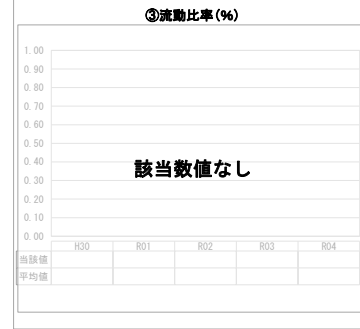
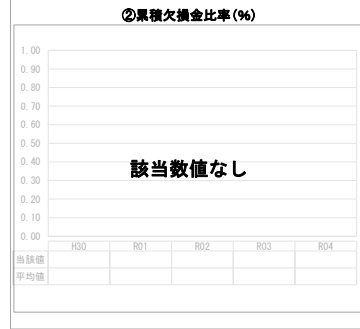
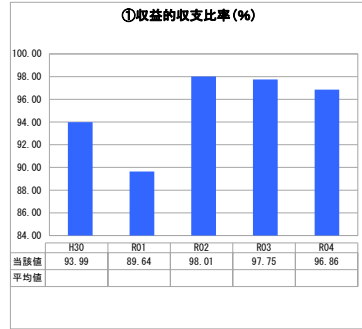
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	21.38	100.00	3,300

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
22,910	41.06	557.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,886	1.87	2,612.83

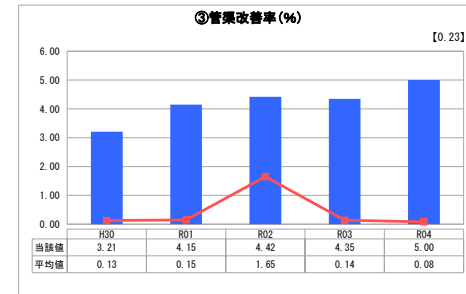
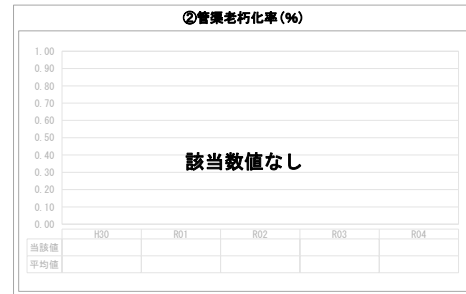
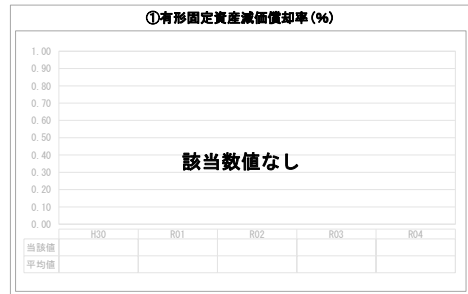
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

【収益的収支比率】
H30年度からR01年度は90%前後で推移していたが、R02～R04年度は100%に近い数値となった。しかし、財源の確保についても一般会計からの繰入金で多く賄っている状態であるため経営改善に取り組む必要がある。

【経費回収率】
H29年より宮川流域関連公共下水道事業の供給開始が始まり、徐々に供用開始区域が広がっているところである。そのため、下水道接続件数が増えるにつれて、H30年度からR03年度まで経費回収率は右肩上がりとなっている。R04年度については、前年度と比較して10数%減となっているが、これは本事業がR05年度より公営企業法の適用をするためにR04年度決算において、打ち切り決算処理を行っているためである。減少の主な要因としては、打ち切り決算による汚水処理費に関する支払いの前倒しや3月調定分使用料の大部分が未収入となっていることが挙げられる。

【汚水処理原価】
類似団体の平均値を下回っているが、今後、宮川流域関連公共下水道事業区域が順次供用開始されていく際には、開始後しばらくは接続率が低く、有収水量が過少となり、高い数値を示す可能性があると思われる。

【施設利用率】
近年は類似団体の平均値よりも高い利用率で、H30年度から横ばいとなっている。

【水洗化率】
宮川流域関連公共下水道事業の供用開始区域の増加につき、指標の数値が低下してきたが、R04年度については宅内接続が進んだ影響により水洗化率が改善されたと思われる。

2. 老朽化の状況について

宮川流域関連公共下水道事業計画に基づき、現在も事業を進めている。このことから、宮川流域関連公共下水道事業の供給開始区域が今後増加していくので、積極的な接続の推進と使用料の徴収が重要になってくると考えられる。また、農業集落排水事業と合わせて、使用料金見直しの検討等を行い、経営改善に向けたアクションを行う必要がある。

全体総括

財源としては、変わらず一般会計からの繰入金で賄っている。このことから、宮川流域関連公共下水道事業の供給開始区域が今後増加していくので、積極的な接続の推進と使用料の徴収が重要になってくると考えられる。また、農業集落排水事業と合わせて、使用料金見直しの検討等を行い、経営改善に向けたアクションを行う必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。